

後天免疫不全症候群以外の患者に発症したサイトメガロウイルス網膜炎の 臨床的特徴の検討

1. 研究の対象

2010年4月から2019年2月の間に防衛医科大学校病院眼科を受診されてサイトメガロウイルス(CMV)網膜炎と診断された後天性免疫不全症候群(AIDS)以外の方です。

2. 研究目的・方法

CMVは日和見感染をきたすウイルスとして知られ、CMVの再活性化により免疫抑制状態の方にCMV網膜炎を発症させることがあります。

CMV網膜炎は後天免疫不全症候群(AIDS)患者に最も多くみられますが、化学療法中の血液疾患の患者、コントロール不良の糖尿病患者にも生じることが知られています。近年、特に医療の進歩・超高齢化社会・糖尿病患者の増加などによりAIDS以外の患者におけるCMV網膜炎の発症が近年増加傾向です。しかしながら、AIDS症例以外の原疾患で免疫能が低下した方でCMV網膜炎が発症した場合の眼底所見や視力予後についての報告は少ないです。そこで、今回、AIDS以外の原疾患の方で発症したCMV網膜炎の臨床所見や予後を比較してその特徴について検討します。

研究方法として、当院眼科診療時の電子診療録を参照します。研究期間は学校長承認日より令和3年3月31日までとします。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

試料：なし

情報：診療録を後ろ向きに、性別、原疾患、発症時の年齢、CMV網膜炎の病型と疾患範囲、治療開始時の血清中白血球数と分画・赤血球数・血小板数・IgG・IgA・IgM・可溶性IL-2レセプター・サイトメガロウイルス抗体値、治療開始前・最終診察時の視力と網膜形態、治療内容、視力予後、生命予後について調べます。

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

埼玉県所沢市並木3-2 眼科医局

電話：04-2995-1211（2333）

防衛医科大学校眼科 講師 高山 圭

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

埼玉県所沢市並木3-2 眼科医局

電話：04-2995-1211（2333）

研究責任者 防衛医科大学校眼科 講師 高山 圭